



医療安全全国共同行動静岡フォーラム

開催要項

(併 (社) 静岡県病院協会・第49回病院学会・第1回医療事故防止対策研修会)



日時 平成21年7月12日(日) 13:00~17:00

場所 グランシップ 11階 「風」

静岡市駿河区池田79-4 (TEL054-203-5713)

主催：医療安全全国共同行動 推進拠点 社団法人静岡県病院協会

主管：医療安全全国共同行動 静岡フォーラム実行委員会

共催：社団法人静岡県医師会、社団法人静岡県歯科医師会、社団法人静岡県看護協会、社団法人静岡県薬剤師会、
静岡県病院薬剤師会、社団法人静岡県放射線技師会、社団法人静岡県臨床衛生検査技師会、
静岡県臨床工学技士会、全国自治体病院協議会静岡県支部

後援：東海北陸厚生局、静岡県、NHK静岡放送局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

「医療安全全国共同行動がめざすこと」

医療安全全国共同行動静岡フォーラム実行委員会

委員長 神原 啓文

(静岡県立病院機構理事長・静岡県立総合病院院長)

医療安全全国共同行動（“いのちをまもるパートナーズ” キャンペーン／日本版100K Lives Campaign）は、平成20年5月から2年間をキャンペーン期間として実施している全国的な運動です。

（社）静岡県病院協会は、昨年10月2日、運動の中心的な働きをされている東北大学大学院の上原教授をお迎えして、医療事故防止研修会を開催し、「医療安全全国共同行動がめざすこと」と題した講演会を開催いたしました。

その後、病院協会は、医療安全全国共同行動の静岡県における推進拠点として運動に関わってまいりましたが、今回「医療安全全国共同行動静岡フォーラム」を開催するにあたり、県内のあらゆる医療関係団体に呼びかけましたところ、職種や立場の壁を超え、医療を担う病院と医療を支えるさまざまな団が賛意を表され、共催団体として名を連ねていただけることになりました。

これも、あいにく医療事故によって、いま医療に対する信頼が大きく揺らいでいる中であって、多くの有害事象が多発する現実を直視すれば、これら有害事象を可能な限り低減させ、かつ有害事象から患者さんの生命を守るために全力を尽くすことは医療に関わるすべての人々の責務であることが共通の認識とされていることの表れだと思われまます。

米国では医療質改善研究所とその呼びかけに応じた多数の団体の協力により、“10万人の命を救え”キャンペーン(100K Lives Campaign) が展開され、全米で約5,500ある病院のうち3,100の病院（急性期病床数の78%に相当）が自主的に参加して改善に取り組み、その結果、18か月間のキャンペーン期間中に入院中の死亡数を大幅に減らすことに成功しております。

こうした前例を踏まえて、県内のあらゆる病院、医療団体が、一致協力して医療事故の防止に総力をあげて取り組むことの意義は非常に大きく、今回のキャンペーンに自主的に参加登録を行って頂き、地域の病院・団体が互いに協力しながら医療の質・安全の確保と向上をめざしたいと考えております。

今回の静岡フォーラムが、キャンペーン促進の起爆剤となりますことを祈念し、皆様のご参加を大いに期待しております。

医療安全全国共同行動静岡フォーラム実行委員会

実行委員会委員長	(社)静岡県病院協会理事・医療事故防止部会部会長	神原 啓文	(静岡県立総合病院院長)
実行委員会副委員長	(社)静岡県病院協会副会長・学術研修部会部会長	行木 英生	(静岡赤十字病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会医療事故防止部会副部会長	堺 常雄	(総合病院聖隷浜松病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会学術研修部会部会員	五島 一征	(掛川市立総合病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会理事・医療事故防止部会部会員	守屋 正伸	(静岡立こころの医療センター事務部長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会医療事故防止部会部会員	玉内登志雄	(J A静岡厚生連静岡厚生病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会医療事故防止部会部会員	若林 庸道	(有隣厚生会富士病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会医療事故防止部会部会員	小林 隆夫	(県西部浜松医療センター院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会学術研修部会副部会長	鳶巢 賢一	(静岡県立静岡がんセンター院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会学術研修部会部会員	前田 稔	(順天堂大学医学部附属静岡病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会学術研修部会部会員	毛利 博	(藤枝市立総合病院院長)
実行委員会委員	(社)静岡県病院協会学術研修部会部会員	茂庭 将彦	(榛原総合病院院長)
実行委員会委員	医療事故防止部会部会長病院	安本 恵洋	(静岡県立総合病院事務部長)
実行委員会委員	学術研修部会部会長病院	尾崎 元次	(静岡赤十字病院事務部長)
実行委員会委員	医療事故防止部会副部会長病院	白井 義隆	(総合病院聖隷浜松病院事務次長)
実行委員会委員	学術研修部会部会員病院	貝島 友房	(掛川市立総合病院事務局長)
実行委員会委員	院内感染対策地域支援委員会委員長	矢野 邦夫	(県西部浜松医療センター副院長兼感染症科長)
実行委員会委員	(社)静岡県医師会副会長	指出 昌秀	(県病院協会理事・学術研修部会部会員)
実行委員会委員	(社)静岡県歯科医師会会長	飯嶋 理	
実行委員会委員	(社)静岡県歯科医師会専務理事	竹下 朝也	
実行委員会委員	(社)静岡県看護協会会長	佐藤 登美	(県病院協会理事・医療事故防止部会部会員)
実行委員会委員	(社)静岡県看護協会常務理事	小長井信子	
実行委員会委員	(社)静岡県薬剤師会会長	曾布川和則	(県病院協会理事・医療事故防止部会部会員)
実行委員会委員	静岡県病院薬剤師会会長	鈴木 淑夫	(榛原総合病院薬剤部長)
実行委員会委員	静岡県病院薬剤師会リスクマネジメント委員会委員長	大貫よし子	(総合病院聖隷浜松病院薬剤部長)
実行委員会委員	(社)日本臨床工学技士会常務理事	佐藤 景二	(静岡市立静岡病院臨床工学科長)
実行委員会委員	静岡県臨床工学技士会会長	安本 晃司	(寺田クリニックCE室室長)
実行委員会委員	(社)静岡県放射線技師会会長	和田 健	(浜松南病院放射線技師長)
実行委員会委員	(社)静岡県放射線技師会医療安全推進委員会委員長	井美恵美子	(浜松医大附属病院放射線部主任)
実行委員会委員	(社)静岡県臨床衛生検査技師会・会長	泉 正和	(浜松医大附属病院検査部技師長)
実行委員会委員	(社)静岡県臨床衛生検査技師会常務理事	横地 常広	(静岡県立総合病院臨床検査科技師長)

プログラム

13:00 開会

主催者代表挨拶
 医療安全全国共同行動推進拠点・県病院協会会長 安藤 幸史
 主管者代表挨拶
 医療安全全国共同行動静岡フォーラム実行委員会委員長 神原 啓文

13:05 来賓祝辞

東海北陸厚生局局长 麦谷 眞理 氏
 医療安全全国共同行動推進会議代表（日本病院団体協議会議長） 小山 信彌 氏
 静岡県厚生部長 大須賀淑郎 氏
 社団法人静岡県医師会 鈴木 勝彦 氏
 社団法人静岡県看護協会 佐藤 登美 氏

13:20 基調講演 (50分)

(テーマ 医療安全全国共同行動がめざすこと)
 演題 **「医療安全全国共同行動がめざすこと」** (仮題)
 講師 上原 鳴夫 共同行動企画委員会委員長
 (東北大学大学院国際保健学分野教授)
 《座長》神原 啓文 静岡県立総合病院院長

14:15 分科会 I (5分科会 80分)

- ・テーマ講演
- ・事例発表
- ・質疑応答

～～～ 休憩5分間 ～～～

15:40 分科会 II (5分科会 80分)

- ・テーマ講演
- ・事例発表
- ・質疑応答

17:00 閉会挨拶

医療安全全国共同行動静岡フォーラム実行委員会副委員長 行木 英生

分科会

分科会 I (14:10～(5分科会80分))

分科会 II (15:40～(5分科会80分))

分科会 I (14:10～(5分科会80分))	分科会 II (15:40～(5分科会80分))
<p>A (10F) 1001-2</p> <p>4.医療関連感染症の防止 行動目標 「院内感染対策地域支援委員会委員会の紹介」(15分) 院内感染対策地域支援委員会 委員長 矢野邦夫 (県西部浜松医療センター 副院長)</p> <p>「MRSA」県立静岡がんセンター 大曲貴夫 「口腔ケアの重要性」県西部浜松医療センター 内藤克美 「結核とQFT」磐田市立総合病院 安田和雅 「洗浄・消毒・滅菌」藤枝市立総合病院 石野弘子 「ノロウイルス対策」沼津市立病院 吉田康秀 (12分×5=60分)</p> <p>(5分) 県西部浜松医療センター 副院長 矢野邦夫</p>	<p>1.危険薬の誤投与防止 行動目標 「危険薬の誤投与防止対策 一病薬アンケートからみえること」 国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部副部長 兼 国際医療福祉大学薬学部講師 佐々木隆</p> <p>「薬品カードによる誤投与防止」庵原薬局 柴田 昭 「処方オーダーリングシステムのリスク防止」 県立総合病院 高橋鉄治 「入院時持参薬管理」静岡赤十字病院 神谷令子 「誤投与防止事例」掛川市立総合病院 平野茂子 「救急カートの整備」磐田市立総合病院 正木銀三</p> <p>総合病院聖隷浜松病院 薬剤部長 大貫よし子</p>
<p>B (10F) 1001-1</p> <p>6.急変時の迅速対応 行動目標 「コードブルー事例を振り返り見えた BLS/AED教育のあり方」 総合病院聖隷浜松病院看護部 ER課長 林美恵子</p> <p>「BLSの職員教育」県立総合病院 吉田 裕 「一時救命処置普及活動」静岡赤十字病院 名倉やよい 「事故発生時の対応パス」磐田市立総合病院 平野一美 「心停止の迅速対応」浜松労災病院 高田尚子 「急変時の対応」遠州病院 竹内高子</p> <p>総合病院聖隷浜松病院 副院長 小久保荘太郎</p>	<p>3.危険手技の安全な実施 a 経鼻栄養チューブ b 中心静脈カテーテル 行動目標 「危険手技の安全な実施のために -メディカルスキルアップセンターにおけるシミュレーション教育-」(25分) 静岡県立総合病院 教育研修部長 高木正和</p> <p>「カテーテル離断の発症予防」静岡厚生病院 日比野正幸 「中心静脈穿刺」県西部浜松医療センター 岩本竜明 「安全な経鼻栄養チューブ挿入」 県立こころの医療センター 井手久子 「経鼻栄養チューブ挿入手技」県立こども病院 長谷川史郎</p> <p>県立総合病院 院長 神原啓文</p>
<p>C (9F) 910</p> <p>5.医療機器の安全な操作と管理 a 輸液ポンプ・シリンジポンプ b 人工呼吸器 行動目標 a 「輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理」(10分) 市立静岡病院 臨床工学科長 佐藤景二 b 「人工呼吸器の安全管理」(20分) 市立静岡病院 呼吸器科 医師 尾北賢治</p> <p>「スタッフ教育」県西部浜松医療センター 富田淳哉 「輸液、シリンジポンプ」総合病院聖隷三原病院 貝阿彌知 「人工呼吸器の安全管理」三島社会保険病院 杉田栄一 「人工呼吸器安全管理」市立静岡病院 興津英和 「人工呼吸器安全使用」総合病院聖隷浜松病院 北本憲永</p> <p>市立静岡病院 臨床工学科長 佐藤景二</p>	<p>2.周術期肺塞栓症の予防 行動目標 「周術期肺塞栓症(PE)予防の必要性」(20分) 県西部浜松医療センター 院長 小林隆夫</p> <p>「DVTの取組み」県立総合病院 伊関丈治 「PEの取組み」磐田市立総合病院 大井直樹 「婦人癌とVTE」県立静岡がんセンター 高橋伸卓 「VTEの取組み」県西部浜松医療センター 木倉陸人 (10分×4)</p> <p>県西部浜松医療センター 院長 小林隆夫</p>
<p>D (11F) 会議ホール風</p> <p>7.事例要因分析から改善へ 行動目標 「名大病院の事例を参考にM&Mカンファレンスを考える」 名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学 准教授 高橋英夫</p> <p>「RCA分析の導入と現状」総合病院聖隷浜松病院 林 泰広 「重要度を考えた要因分析」掛川市立総合病院 鈴木晃爾 「抗ガン剤の誤投与防止」静岡赤十字病院 武田恵子 「M&Mカンファレンス」県西部浜松医療センター 佐々木俊哉</p> <p>静岡県立総合病院 院長 行木英生</p>	<p>8.患者・市民の医療参加 行動目標 「取り組みを組織でどう進めるか、 まずは自施設に合う取り組みを選んで」(25分) 慶応大学大学院健康マネジメント研究科修士課程 薬剤師 飯島久子</p> <p>「患者図書室活動」(15分)浜松赤十字病院 飯田育子 「安心・安全な医療を市民と」掛川市立総合病院 山田貴江 「患者の安全を守るための3つのお願い」 菊川市立総合病院 足立孝子 「患者からのメッセージ」あけぼの静岡代表 星野希代絵 (5分×3)</p> <p>掛川市立総合病院 院長 五島一征</p>
<p>E (9F) 904</p> <p>9.臨床検査 行動目標 a 「当院におけるインシデントレポート状況と解析」(15分) JA厚生連遠州病院 伊藤喜章 b 「事例解析の手法紹介と事例解析」(15分) 県立総合病院 検査科 技師 鈴木勝己</p> <p>「採血時の取り違い」浜松医大附属病院 金子 誠 「生理検査室の転倒」県西部浜松医療センター 小田孝巳 「当直でのインシデント」市立静岡病院 外 輝雄 「採血業務」富士市立中央病院 渡辺数由 「薬剤感受性検査成績」県立静岡がんセンター 佐藤智明</p> <p>県臨床衛生検査技師会 会長 泉正和</p>	<p>10.放射線部門のヒヤリ・ハットアンケート結果報告 行動目標 「放射線部門のヒヤリ・ハットアンケート結果報告」 浜松医大附属病院 放射線部 井美恵美子</p> <p>「放射線治療の品質管理」総合病院聖隷浜松病院 鈴木明美 「患者間違いの防止」県立総合病院 神山 司 「CT造影検査の造影剤漏出」浜松医大附属病院 村田 守 「胸部単純撮影での転倒」市立御前崎総合病院 鈴木久士 「放射線治療の安全対策例」市立袋井市民病院 水間健二</p> <p>浜松医大附属病院 放射線部 井美恵美子</p>

A 分科会 I (10F 1001-2) (14:15~ 80分)

『行動目標4. 医療関連感染症の防止』分科会

座長 社団法人静岡県病院協会・院内感染対策地域支援委員会
委員長 矢野 邦夫 (県西部浜松医療センター副院長)

講演 「院内感染対策地域支援委員会の紹介」
講師 県西部浜松医療センター 副院長 矢野 邦夫 氏

事例発表

- ①「MRSA」
静岡県立静岡がんセンター 感染症科部長 大曲 貴夫
- ②「結核病棟を有さない急性期病院でのQFT-2Gを用いた職員検診—2年間の結果から—」
磐田市立総合病院 副院長 兼 医療技術部長 安田 和雅
- ③「洗浄・消毒・滅菌の基本と選択」
藤枝市立総合病院 感染対策室室長 石野 弘子
- ④「ノロウイルス対策について」
沼津市立病院 呼吸器科部長 吉田 康秀
- ⑤「急性期病院病棟における口腔ケアの重要性」
県西部浜松医療センター 歯科口腔外科科長 内藤 克美

~~~~ 休憩5分間 ~~~~

## A 分科会 II (10F 1001-2) (15:40~ 80分)

### 『行動目標1. 危険薬の誤投与防止』分科会

座長 静岡県病院薬剤師会リスクマネジメント委員会  
委員長 大貫よし子 (総合病院聖隷浜松病院薬剤部長)

講演 「危険薬の誤投与防止対策—病薬アンケート調査からみえること—」  
講師 国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部副部長  
兼 国際医療福祉大学薬学部 講師 佐々木 隆 氏

#### 事例発表

- ①「薬品カードを使った誤投与防止の取り組みについて」  
庵原薬局 管理薬剤師 柴田 昭
- ②「処方オーダーリングシステムにおけるリスク防止の工夫」  
静岡県立総合病院 薬剤部 主幹薬剤師 高橋 鉄治
- ③「当院における入院時持参薬管理について」  
静岡赤十字病院 薬剤部 調剤課長 神谷 令子
- ④「危険薬の誤投与防止・事例及び経過報告」  
掛川市立総合病院 薬剤室 副室長 平野 茂子
- ⑤「救急カートの整備～5Sの活用～」  
磐田市立総合病院 薬剤部 主任薬剤師 正木 銀三

## B 分科会 I (10F 1001-1) (14:15~ 80分)

### 『行動目標6. 急変時の迅速対応』分科会

座長 総合病院聖隷浜松病院 副院長 小久保 荘太郎

講演 「コードブルー事例を振り返り見えたBLS/AED教育のあり方」  
講師 総合病院聖隷浜松病院 看護部 ER課長 林 美恵子 氏

#### 事例発表

- ①「BLSの職員教育の徹底—メディカルスキルアップセンターの活用—」  
静岡県立総合病院 循環器内科 医長 吉田 裕
- ②「静岡赤十字病院での一時救命処置普及活動についての報告」  
静岡赤十字病院 救急看護認定看護師 名倉 やよい
- ③「当院における重大事故発生時の対応パス」  
磐田市立総合病院 医療安全推進室 医療安全管理者 平野 一美
- ④「突然の心停止に迅速対応出来た一例」  
浜松労災病院 医療安全管理室 高田 尚子
- ⑤「当院における急変時の対応」  
JA静岡厚生連遠州病院 看護師長 竹内 高子

~~~~ 休憩5分間 ~~~~

B 分科会 II (10F 1001-1) (15:40~ 80分)

『行動目標3. 危険手技の安全な実施 a 経鼻栄養チューブ b 中心静脈カテーテル』分科会

座長 社団法人静岡県病院協会・医療事故防止部会
部会長 神原 啓文 (静岡県立総合病院院長)

講演 「危険手技の安全な実施のために
—メディカルスキルアップセンターにおけるシミュレーション教育—」
講師 静岡県立総合病院 教育研修部長 高木 正和 氏

事例発表

- ①「皮下埋込型静脈用ポート 接合部(ステム)カテーテル離断の発症予防」
JA静岡厚生連遠州病院 外科医長 日比野正幸
- ②「超音波ガイド下中心静脈穿刺」
県西部浜松医療センター 医師 岩本 竜明
- ③「安全な経鼻栄養チューブ挿入のための取り組み」
静岡県立こころの医療センター 総括リスクマネージャー 井手 久子
- ④「経鼻栄養チューブ挿入手技と管理上の合併症」
静岡県立こども病院 副院長・外科 長谷川史郎

C 分科会 I (9F 910) (14:15~ 80分)

『行動目標5. 医療機器の安全な操作と管理 a 輸液ポンプ・シリンジポンプ b 人工呼吸器』分科会

座長 (社)日本臨床工学技士会常任理事 佐藤 景二 (静岡市立静岡病院 臨床工学科長)

講演 a「輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理」
講師 静岡市立静岡病院 臨床工学科科長 佐藤 景二氏

講演 b「人工呼吸器の安全管理」
講師 静岡市立静岡病院 呼吸器科 尾北 賢治氏

事例発表

- ①「医療の安全とスタッフ教育—エキスパートNs育成研修会を実施して」
県西部浜松医療センター 臨床工学科 富田 淳哉
- ②「当院における輸液、シリンジポンプの管理について」
総合病院聖隷三方原病院 CE室 貝阿彌 知
- ③「チームで取り組む人工呼吸器の安全管理」
三島社会保険病院 臨床工学科 杉田 栄一
- ④「当院における人工呼吸器の安全管理」
静岡市立静岡病院 臨床工学科 興津 英和
- ⑤「人工呼吸器安全使用のための臨床工学技士の係わり」
総合病院聖隷浜松病院 臨床工学室 北本 憲永

~~~~ 休憩5分間 ~~~~

## C 分科会 II (9F 910) (15:40~ 80分)

### 『行動目標2. 周術期肺塞栓症の予防』分科会

座長 社団法人静岡県病院協会・医療事故防止部会  
部会員 小林 隆夫 (県西部浜松医療センター院長)

講演 「周術期肺塞栓症予防の必要性」  
講師 県西部浜松医療センター 院長 小林 隆夫氏

#### 事例発表

- ①「静岡県立総合病院の深部静脈血栓症予防の取組みについて」  
静岡県立総合病院 副院長 外科 伊関 丈治
- ②「磐田市立総合病院における肺血栓塞栓症に対する取組み」  
磐田市立総合病院 臨床検査科 血管診療技師 超音波検査士 大井 直樹
- ③「婦人科癌における血栓塞栓症と静岡がんセンターにおける予防の取組み」  
静岡県立静岡がんセンター 婦人科 高橋 伸卓
- ④「県西部浜松医療センターにおける静脈血栓塞栓症予防の取組み」  
県西部浜松医療センター 麻酔科 木倉 睦人

## D 分科会 I (11F 会議ホール風) (14:15~ 80分)

### 『行動目標7. 事例要因分析から改善へ』分科会

座長 静岡赤十字病院 院長 行木 英生

講演 「名大病院の事例を参考にM&Mカンファレンスを考える」  
講師 名古屋大学大学院 医学系研究科 救急・集中治療医学  
准教授 高橋 英夫氏

#### 事例発表

- ①「聖隷浜松病院におけるRCA分析の導入と現状」  
総合病院聖隷浜松病院 耳鼻咽喉科部長兼病院安全管理委員会委員長 林 泰広
- ②「重要度を考えたインシデントレポートの要因分析」  
~FMEA・メディカルセーフターを利用して~  
掛川市立総合病院 作業療法士 鈴木 晃爾
- ③「抗ガン剤の誤投与防止に向けての取り組み」  
静岡赤十字病院 医療安全推進室 専任リスクマネージャー 武田 恵子
- ④「医療の質・安全への取り組み：  
M&Mカンファレンス(Morbidity & Mortality Conference)の意義」  
県西部浜松医療センター 救急科長 佐々木俊哉

~~~~ 休憩5分間 ~~~~

D 分科会 II (11F 会議ホール風) (15:40~ 80分)

『行動目標8. 患者・市民の医療参加』分科会

座長 社団法人静岡県病院協会・学術研修部会
部会員 五島 一征 (掛川市立総合病院院長)

講演 「取り組みを組織でどう進めるか、
まずは自施設に合う取り組みを選んで」
講師 慶応大学大学院マネジメント研究科修士課程
薬剤師 飯島 久子氏

事例発表

- ①「浜松赤十字病院の患者図書室活動」
浜松赤十字病院 司書 飯田 育子
- ②「安心・安全な医療を市民と共に」
—自ら名前を名乗ることの必要性の理解に向けて—
掛川市立総合病院 看護師長 山田 貴江
- ③「患者の安全を守るための3つのお願い」
菊川市立総合病院 足立 孝子
- ④「患者からのメッセージ」
あけぼの静岡 代表 星野希代絵

E 分科会Ⅰ (9F 904) (14:15～ 80分)

『9. 臨床検査』

a 検査を取り巻く医療過誤

b 医療過誤事例解析』分科会

座長 社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 会長 泉 正和
(浜松医科大学医学部附属病院検査部技師長)

講演 a 「当院におけるインシデントレポート状況と解析」

講師 J A 静岡厚生連遠州病院 臨床検査科 伊藤 喜章 氏

講演 b 「事例解析の手法紹介と事例解析」

講師 静岡県立総合病院 臨床検査科 鈴木 勝己 氏

事例発表

①「採血支援ロボシステムを介しても発生した採血時の取り違え事例」
浜松医科大学医学部附属病院 検査部 金子 誠

②「生理検査室における転倒事故の一例」
県西部浜松医療センター 臨床検査技術科 小田 孝巳

③「緊急検査室(当直)でのインシデント事例」
静岡市立静岡病院 検査技術科 外 輝雄

④「13年間の過誤記録を踏まえた採血業務の運用」
富士市立中央病院 診療技術部 臨床検査科 渡辺 数由

⑤「薬剤感受性検査成績の実情」
静岡県立静岡がんセンター 感染症科 佐藤 智明

～～～ 休憩5分間 ～～～

E 分科会Ⅱ (9F 904) (15:40～ 80分)

『10. 放射線部門の ヒヤリ・ハットアンケート結果報告』分科会

座長 社団法人静岡県放射線技師会 医療安全推進委員会
委員長 井美 恵美子 (浜松医科大学医学部附属病院放射線部主任)

講演 「放射線部門のヒヤリ・ハットアンケート結果報告」

講師 浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 井美 恵美子 氏

事例発表

①「放射線治療の品質管理活動について」
総合病院聖隷浜松病院 画像診断センター 放射線部 鈴木 明美

②「患者間違いの防止について」
静岡県立総合病院 放射線部 神山 司

③「CT造影検査における造影剤漏出の場合」
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 村田 守

④「胸部単純撮影で経験した転倒重症事例」
御前崎市立御前崎総合病院 画像診断科 鈴木 久士

⑤「当院の放射線治療における安全対策例について」
袋井市立袋井市民病院 放射線科 水間 健二

17:00 閉会挨拶

医療安全全国共同行動静岡フォーラム実行委員会副委員長 行木 英生

○ お申込み・お問い合わせ 下記にて、FAXでお申し込みください。

「医療安全全国共同行動推進拠点」社団法人静岡県病院協会 事務局

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館6階
TEL/FAX 054-252-6326 E-mail: web@shizuoka-bk.jp

○参加料 参加者 1人 2,000円 (資料代を含む)

施設への アクセス



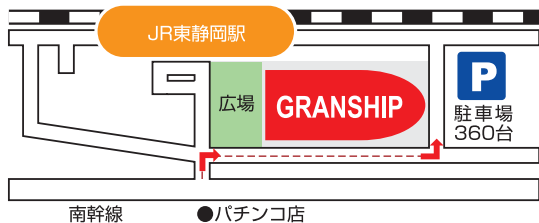
新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。
静岡駅下車。
東海道本線(上り)へ乗換え、3分。東静岡駅下車。



東名高速静岡I.Cから20分。
静岡バイパス千代田上土I.Cから10分。



グランシップ周辺図



駐車場 使用料



グランシップ利用者

1台につき1時間までごとに…100円

上記以外の方

1台につき1時間までごとに…200円

注1) 入庫時は午前8時から午後10時まで。

- 館内の事前精算機でお帰りのときご精算ください。
- 館内の事前精算機で精算しないとグランシップ利用者と見なされず、1時間200円となります。

注2) 駐車場は、普通乗用車360台が駐車できますが、開催状況によっては、満車となる場合があります。近隣には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。